

登録コード	HB493100	開講年度	2026			
授業題目	脳神経外科特論				担当教員	堀内 哲吉 他
英文授業名	Neurosurgery				副担当	金谷 康平・藤井 雄
単位数	2	講義期間	不定期	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
			授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	(授業の達成目標)
	2026HB4年制初					
	【専攻】医学と理工学の融合領域の専門分野における深い知識・卓越した技能				⇔	中枢神経の解剖と機能を理解する。
(2)詳細/Detailed information	本講義では、中枢神経の解剖、機能といった総論的な話をはじめとして、現在の医療における脳神経外科の位置づけを理解していただくことをねらいとする。そのため、基礎的な知識を習得後に診断と治療、とりわけ、それらの最近の進歩についても解説する。					
(3)授業の概要/Overview of course	同上					
(4)授業計画/Course plan	堀内哲吉：脳神経外科の特徴的な疾患について一般診療で必要な診断，治療における大切な点について解説する。脳血管の解剖およびその機能面について講義する。 金谷康平：良性腫瘍，てんかんの外科について講義する。 藤井雄：近未来の脳神経外科手術治療について講義する。					
(5)成績評価の方法/Grading/evaluation method	授業終了後、簡単な記述式の小テスト・小レポートを実施することにより、その時間に話した内容についての理解度を調べる。すべての授業終了後には、授業の内容に関連したレポートの課題を与える。小テスト50%、レポート50%として100点満点で採点する。90点以上秀、80-90点優、70-80点良、60-70点可、60点未満不可とする。					
(6)成績評価の基準/Grading/evaluation criteria	本講座では、脳に関する疾患を通して、その解剖および機能を勉強し習得することを目標とする。よって、各講師陣の講義でこれらの観点より中枢神経の働きを身につけることを評価の基準とする。					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容/Notes	本講義は、トピックス的な話題を集めたものではなく、系統的な内容を積み上げていく連続形式の授業形態をとる。そのため講義には学会発表など致し方ない場合を除き、欠席することなくできる限り出席すること。					
(8)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	随時質問を受け付ける。またメールでの対応も行う予定である。					
(9)授業の形式/Course format	先ほども述べた通り、本講義は積み上げ式の講義形態をとる予定である。講義が終わってから講義資料をよく読み返し復習して次の授業に備えること。					
【教科書/Textbook(s)】						
【参考書/Reference work(s)】						